

平成29年10月17日

各位

会社名 クボデラ株式会社
(コード番号 9261 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 窪寺 伸浩
問合せ先 取締役管理部長 吉田 俊夫
T E L 03 - 3386 - 1153
U R L <http://corp.kubodera.jp/>

事業計画概要について

【売上高及び損益計画】平成30年4月期

(単位：千円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成29年4月期 (実績)	768,400	9,027	2,740	1,925	1.20円
平成30年4月期 (計画)	1,627,933	23,921	9,227	6,108	3.09円

【平成30年4月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

わが国経済は、デフレ脱却を国の基本政策としているにもかかわらず、全体的な景気浮揚につながっていないのが現状であります。

木材業界におきましては、住宅ではない低層の公共物件、公共施設に準ずる、いわゆる中小の「非住宅」建造物の増加、そしてそういった公共物件等への国による木材利用促進の政策が追い風となっております。

住宅業界におきましては、住宅着工件数は減少傾向にあるものの、住宅ローン金利の軽減や金融緩和等様々な措置により底堅い需要があります。

(2) 個別の前提条件

当社は、平成28年9月1日に木材卸売業を営む旧クボデラ株式会社を吸収合併し、決算期を6月30日から4月30日に変更しております。その結果、平成29年4月期は、木材事業が8か月、住宅事業が10か月の実績となっているため、前年同期比較は記載しておりません。

①売上高

木材事業におきましては、当社首都圏サービスセンターが平成 29 年 6 月に「製材等 J A S 認定」を受け、公共事業や非住宅建造物の需要に対応することができるようになりました。また、同 8 月には相模原販売所の増員を行い、株式会社オープンハウス・アーキテクト（東京都立川市）の神奈川県エリア、株式会社平成建設（静岡県沼津市）の神奈川県・東京都エリアでの納材を開始いたしました。これらの要因により売上高を 1,515,320 千円と予想しております。

住宅事業におきましては、東京の城南地区、神奈川県の横浜及び川崎地区を中心に、地場工務店的な草の根営業をより徹底していくことで、売上高を 112,613 千円と予想しております。

この結果、売上高は 1,627,933 千円を予想しております。

②売上原価、売上総利益

平成 29 年 4 月期の各事業の売上原価率を考慮して見積もっております。

この結果、売上総利益は 299,252 千円と予想しております。

③販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、平成 29 年 4 月期の実績に、相模原販売所における人件費や減価償却費の増加、また株式公開費用等を考慮し、275,331 千円と予想しております。

この結果、営業利益は 23,921 千円と予想しております。

④営業外損益、経常利益

営業外収益及び営業外費用は、平成 29 年 4 月期の実績を考慮して見積もっております。

この結果、経常利益は 9,227 千円と予想しております。

⑤当期純利益

法人税等の 3,119 千円を控除した結果、当期純利益は 6,108 千円と予想しております。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。